

金箱慶二 かねはら せいきう 歌人。明治二十九年二月二十一日長野縣北佐久郡五郎兵衛新田村生れ、昭和四年七月十七日歿（二八六―一九元）。大正五年長野師範學校を卒業し、廣島高等師範學校入學。翌年下村千鶴ちよとの指導の下、内野健兒（新井徹）等と火群短歌會を興す。七年内野の紹介で東京新詩社に入る。九年卒業し、短歌會記念歌集『ほむら』刊、また群馬師範學校に赴任。十一年内野の『耕人』創刊に参加。十二年退職し、病氣療養の傍ら郷土史研究に従事。

遺稿集『榎蔭集』（昭和五年十月）二十一年群馬・金箱慶二遺稿刊行會編輯、煥字堂發賣）。

